

お知らせ：家族支援に関する相談を受けられるように担当部署を
決めました。院内メールでご連絡ください。
野町（4F所属）：外来・4階・OP室・ICU
岩井（6F所属）：西5・東5・6階・7階
タイムリーに対応できない場合があります。ご了承ください。

家族看護エンパワーメントモデルについて紹介します

—基本的な考え方—

家族自身がおもつ力を発揮しづらい状況にある家族に対して、その状況を患者のみならず、家族全体に起こっている体験として理解を示しながら、家族が本来おもつ力が発揮されることを信じ、家族らしい生活の実現に向けて、家族をエンパワーするアプローチを展開する

ステップ1：家族の病気体験の理解

- ・健康－病気のステージ
- ・家族の病気の捉え
- ・家族の情緒的反応
- ・家族のニーズ
- ・家族と病気の関係

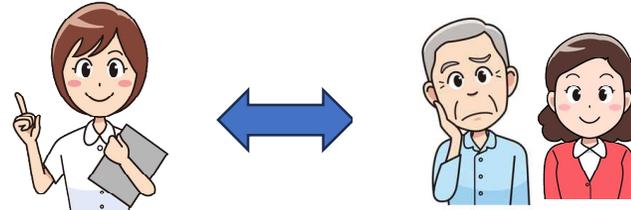
の5つの視点で家族の病気体験を理解する

ステップ2：家族との援助関係の形成

- ・中立であること
- ・家族の意思決定を尊重すること
- ・看護者自身の価値観や先入観を自己洞察することに留意し関わる

こんなときに活用できます!!

- ▶家族がどのような体験をしているかわからない
- ▶家族にどのようにアプローチしたらよいかわからない
- ▶家族に多面的にアプローチしていきたい ...など



ステップ3：家族アセスメント

- ・家族構成
- ・家族の発達段階
- ・家族の役割関係
- ・家族の力関係
- ・家族の人間関係や情緒的關係
- ・家族内コミュニケーション
- ・家族対処行動や対処能力
- ・家族の適応力、問題解決能力
- ・親族や地域社会との関係、家族の資源
- ・家族の価値観
- ・家族の期待・希望
- ・家族のセルフケア力

といった視点でアセスメントする

ステップ4：家族像の形成

ステップ1～3より浮かび上がってきた
家族のあり様を家族全体として統合する



ステップ5：家族エンパワーメントを支援する看護介入

- ・家族の日常生活、セルフケアの強化
- ・家族への情緒的支援の提供、家族看護カウンセリング
- ・家族教育
- ・家族の対処行動や対処能力の強化
- ・家族関係の調整・強化、コミュニケーションの活性化
- ・家族の役割調整
- ・親族や地域社会資源の活用
- ・家族の発達課題の達成への働きかけ
- ・家族の危機への働きかけ
- ・家族の意思決定の支援・アドボカシー
- ・家族の力の強化

家族像に基づいて、その家族にとって効果的な家族看護介入を選択して行う

